

## 情報社会学会 次世代部会 平成 19 年度活動計画(案)

### [活動方針]

現代社会の変容( ICT の影響)の研究を基礎として情報通信技術( ICT)と社会システムの総合的な研究を目指し、ワークスタイルとしての分散協調ワーク( Adaptive Collaboration)とライフスタイルとしての自立共生社会( Conviviality)を目指して電子政府など情報社会の基盤と次世代の情報社会のあるべき方向性を確立するための研究を推進する。 Web2.0 にみられるように XML Web サービスを利用した新しいコミュニケーションの考え方やビジネスモデルが稼働している。これらシチズン・セントリックとも言うべき考え方でネットワークを利用する動きについて研究するとともに情報社会の設計学としての SDT( Social Design Technology)の確立を目指して研究会を設置して 21 世紀の情報社会を構築する理念と手法を研究することを目標とする。

### [主要研究テーマ]

- ① 次世代技術, 標準および政策の調査・研究
- ② SDT( Social Design Technology)研究
- ③ 情報社会基盤の普及・啓発および教育支援
- ④ 国内外の関連諸団体との連携
- ⑤ その他

### [主要目標]

- ① 安心・安全な次世代インターネットデータセンターモデルの確立
- ② デジタルでの原本性確保・長期保存の基盤確立
- ③ XML Web サービスによるビジネスモデルの研究( Web2.0 の次の世代の研究)
- ④ ①②③を総合した SDT としての情報社会基盤構築の指針と提言およびその国際標準化
- ⑤ XML Web サービスによる情報社会基盤テストベッドの構築と継続的な運用

### [活動内容]

1. 次世代データセンター, MAN 等情報社会基盤の政策、技術、研究
2. データ共有によるリアルタイム分散協調ワークの研究と次世代 Web サービスの研究
3. デジタル・コンテンツの高度利用モデルとその応用に関する研究(教育システム含む)
4. SDT( Social Design Technology)の研究
5. アイデンティティ基盤構築と応用技術研究

### [部会体制]

#### 次世代部会

- SDT 研究会: 主査 大橋正和(中央大学総合政策学部)
- SDT 研究会 分散協調ワーク分科会: 主査 堀真由美(白鷗大学経営学部教授)